堂本彰夫

エッセイ集

~我が想い 漂えるままに~

第一部 東シナ海眺望記 (総集版)

PART3

+

短歌集

~過ぎ去りし日々~

堂本彰夫 2019年12月

○PART5 刊行にあたって(平成31年4月)

引き続き、相も変わらず?「我が想い 漂えるままに」と題して、本シリーズ (「東シナ海眺望記」) を書き記してきたが、ここに「PART5」を刊行することになった。ただし、「平成」から「令和」への世替わりにあたり、号数的には不自然ではあるが、新たなシリーズに進むために、本シリーズは、これでおしまいとする!

堂本 彰夫

※ホームページの URL 及びメール・アドレスは、下記の通りです。いつでも、気軽に、ご覧下さい! そして、いつでもご連絡、お便りいただければ、本当に嬉しい限りです!

ホームページの URL⇒http://www.gakuyou.jp メール・アドレス ⇒gakuyou17@outlook.jp

目 次

- 121 いよいよ始まった新しい年!私にとっては、いかなる年が?!
- 122 成人の日!多くの新成人が、今も巣立っているのであるが?!
- 123 若者達の次なる道?!頼もしい大人も多々いる?!それで良し?!
- 124「坂」を後ろ向きに?!ひょとしたら、今の私はそうなのかも?!
- 125 "球春 "に広がる期待?! 今年も出会った素敵な人々!いざ!
- 126 本当に、遠きあの頃?!だが、素直に思い出せばすぐそこに?!
- 127 職場は、終わってみれば唯の場所?!その光景も他人のもの?!
- 128 近づくその日?!気温は上昇、まるで夏のよう?!だが、多雨!
- 129 今年度、否、平成最後!やがて新たな時代?がやってくる?!
- 130 気がつけば、いよいよあと半月!かなりのざわつきもある?!
- 131 新元号もあと僅か!改めて始まる30年目の沖縄!何が待つ?!
- 132 いよいよ始まる「令和」の時代!だが日々は、いつものように?!
- 133 あっと言う間の1週間?!だが、新しい年度は始まっているのだ?!
- 134 年に一度のその日であるが、此度は、かなり違った趣きがある?!
- 135 残すところ9日!梅雨入りは、可能な限り先延ばしでよい?!
- 136 評価されるは、例え誰であろうとも、その「生き様」なのだ?!

○短歌集~過ぎ去りし日々~

121 いよいよ始まった新しい年!私にとっては、いかなる年が?!

今日は、1月7日(月)である。大晦日から昨日まで、本土(九州)の方に出かけていたので、沖縄での、新年の動き出しは本日からということになる!天気も、今日は良く(正月はあまり良くなかった?)、うららかな陽光を浴びて、あたかも春の一日といった具合いである!

とにかく、多くの人(公務員を除く?)は、本日からが本格的な仕事始め(再開)ということになっているであろうが、私の場合は、のんびりとしたもので(年賀状の返信は少し大変であったが!)、非常勤の仕事も水曜日(9日・振替)からである!

ただし、これまでと同じように、一応?新鮮な気持ちになっているのは事実であり、それは、私がまだ?、社会的にも生きているという証しなのかもしれない?!4月に新元号が発表されるらしいが、前後して、オリンピック・ブームもさらに高まり、世の中は大きく変わっていくことであろう?!そんな年が、果たして、私にとっては、いかなるものになるのか?!

それはさておき、年を跨いだ、本土(九州)での1週間については、前号(120)で、その予定を紹介していたので、ここでは詳しくは書かないが、宮崎での長女一家や三女との再会・小旅行?、福岡での次女、そして高校時代の友人との再会、それらが、あっという間に過ぎ去ってしまった!

本当に、時日の流れは速いものである!特に、楽しい時間は!そんなことも、 一方では思いながら、今回は(も?)、予想(期待していた?)以上に、いい旅 (リフレッシュ)になったように思う!

ちなみに、旅先の一つ日南市では、あの難解な読みの「飫肥_{おび}城(址)」も 訪ねた!以前、そこの紹介をしていたテレビ番組を見たことがあったが、「あ あ、ここがあの飫肥城なのだな!」と思いながら、あまり熱心な観光客ではな かったが、そのフリ?をして、楽しく回らせてもらった!

そんな中、そこで、ちょっとだけであったが、貴重な体験をさせてもらった! ひょんなことから、私の奥さんと一緒に、タダの「人力車」に乗せてもらった のである!自称?ボランティアのおじさん(私と同じ年だったかな?)が、練習 を兼ねて乗せてくれるというので、図々しくも乗せてもらったのである!

彼は、体力づくり?も兼ねて、地元のために、ボランティアで、その仕事?を引き受けているということであった!体も丈夫そうであったが、何せ表情が良かった!ある意味羨ましさ(後ろめたさ?)も感じたが、こんなに洒落た(贅沢な?)体験は、もちろん初めてであった?!隣の、私の奥さんは、どのように思ったのであろうか?!こんなことを、何一つしたことがない武骨な?(優しくない!)私であるが、いい思い出になっていればよいのであるが…

いずれにしても、今の私にしてみれば、離れて暮らす子や孫達、そして旧き

良き友人達との再会が、束の間ではあるが、楽しい一時でもあるのである!したがって、そんな実感をもちながら、改めてこれから、ここ沖縄の地で、どのような出会い・交わりを、教え子達や、私を必要としてくれる人達と行うことができるのか?!

今当地では、件の県民投票を巡る状況で、大いにもめている?!我々は、国民、 県民、市民、そのどれもでもあるが、それが、一つの筋で繋がらない時もある のである?!ベランダ越しに見える、あの大海は、すべての海と繋がっている! だが、その実感は、見える範囲だけでは持てないのでもある!ただ、それだけ である?!

- ・ 1週間の 留守から始まる 我が新年に 猪突猛進 あり得ない!
- ・ 旧き良き 友人達とも会える その場所は 私にすれば 遠き場所でも?!
- ・ どの地にも "ふるさと"のため 生きる人あり! 羨めど それは叶わぬ?!
- ・ 国民・県民・市民! 人はみな その顔もてど どれが 己 と 分からぬ場合も?!

(1月7日)

122成人の日!多くの新成人が、今も巣立っているのであるが?!

今日は、1月14日(月)である。「成人の日」ということである!ただし、こ こ数年は、周囲に新成人を迎える人間がいないので(学生は別?)、ほとんど何 の感慨もない。今朝の新聞では、多分?昨日成人式を迎えた新成人の顔と、そ の所信表明?の記事が、まとめて紹介されていた。しかし、申し訳ないが、個々 の文章は読んでいない!

教育あるいは青年教育の専門家?を名乗ってきた私ではあるが、何故か、彼らの成長ぶり?には目を向けていない?!であれば、これでは、その名を返上しなければならない?!ある意味、まったく恥ずかしい?言動である?!尤も、以前も、そうした記事には、そんなに関心を寄せてはいなかったようにも思う?!

要は、いろいろ言いたいこともあるが、その中身については、最早自分の口からは、何も言いたくないということである?!

すなわち、「成人式」が、いわゆる社会教育(行政)の所掌の一つであり、 何故、それが「社会教育(行政)」の事業なのかを、学生に説明したり、最近 では、あまりマスコミも騒がない?式そのものの「荒れ」については、直接足 を運び、現場をつぶさに見て、それについての論評もしたが、近年では、まっ たくそれを行っていない。

あるいは、式そのものを正月にやったり、お盆休みを利用してやったりという、離島や過疎地域のそれについては、地域の活性化や、それこそ社会教育(行政)の意義や可能性に関わって、そのあり方に興味・関心ももっていたが、今ではそれも、ある意味当たり前となり、ほとんど視野にいれていないということである?!

改めて、今日の天候は、全国的に晴れの見込みで、まさに新成人の門出を祝 うには最高の日和である!山あり、谷ありの?、これからの人生、是非頑張っ てもらえればいいのであるが、果たしてどうなるのであろうか?!

来年のオリンピックに合わせた、NHKの大河ドラマもスタートしている (それらしくないが?)!ちょっと気になるJOC会長の贈賄疑惑報道も出て 来ているが、大会自体が覆ることはないであろう?!

それにしても、「金」というものは、厄介なもの?である!この場合、「金」は「カネ」と「きん(メダル)」の双方を指しているが、これもまた双方共に、生身の人間の「現実」である?!批判や罰するのは、そしてまた称賛や感動するのは、傍から見ている?者からすれば、実に簡単ではあるが、当事者達の心の奥底までは、なかなか行き着けない?!

悪(犯罪?)と善(正義?)は、ある特定のことの是非(存否)で決まっていくわけであるが、単なる個人の利害、独善、我儘や快楽のそれでない限り、そんなに単純にはいかない?!

末尾になるが、繰り返すように、他のシリーズ(「教育協働への道」と「古代 史の旅」)が、なかなか進展しない!書く材料・テーマが無くなっている?と も言えるが、新たな述作(これもまた、いずれHP上にアップしたい!)を始め ているのも、その原因であろう?!

ちなみに、今月 19 日の「ミニ研究会」、そして、その後の国社研の主事講習の講義 (29 日と 31~2/1 日) が控えている!これに向けては、かなりの集中が必要となる?!先程快晴であった海 (湾) や空の模様が、厚い銀鼠色の雲に覆われ、かなり怪しくなってきている!風はあまりなく、3月並みの陽気ではあるが、多少憂鬱な風情を感じさせる?!これもまた、私の今日である!

- 「成人の日」 形はあるが その中身 間えないものが 確とある?!
- ・ 新成人 モデルとなる人 いるか?! いるならそれを いかにして遂ぐ?!
- ・ 入間社会には "大岡裁き " 必要か?! ただしそれには 誰が臨むか?!

(1月14日)

123 若者達の次なる道?!頼もしい大人も多々いる?!それで良し?!

今日は、1月21日(月)である。新しい年が明けて、既に3週間が過ぎた!成人式やセンター試験も終わり、新たな、次のステップが始まろうとしている!私の日常は、相変わらずであるが、歯の治療に数回出かけている。後1回で済みそうである!

また、補助券を使ってのマッサージにも行った!そこのマッサージ師は、珍しく古代史にも造詣が深く、いくつかの話題で、今回も盛り上がった!ただし、 やはり下肢のむくみやしびれが、多少気になる?!長年の腰痛のせいなのかどうかは分からないが、もう少し体を動かす必要はあるであろう?!

ところで、先週の土曜日に、受講学生達と行う最後の研究会(ミニ研究会「今、何が、どう動いているのか?」、「学社融合と学びの共同体づくり」の授業の一環)を行った。会場は、N町の中央公民館(視聴覚教室)であったが、受講学生6人+助っ人?学生2人、Next+の若者5人、そして頼もしい大人?5人の参加であった!

ほぼ予定していた顔触れ、人数であった!寂しい限りであると言えば、まさしくそうであるが、今の状況からすれば、それはそれで上等であろう?!ちなみに、まったく予想もしていなかったH町の職員Y君が、最後の研究会と聞き知って?顔を見せてくれた。嬉しい限りであった!

とにかく、本研究会では、受講学生達が頑張ってくれて(本当である!)、会の進行も、テーマの展開も良かった!私は、担当教員としてよりも、体のいい"フィクサー? "として、司会進行(「昼下がり決死隊?」の二人)には大変迷惑をかけたが、最後の研究会を盛り上げたつもりである?!

後半のミニ講義?では、「今、注目される取り組み」として、栃木市の「栃木未来アシストネット」、岡山市と多久市の「ユネスコ学習都市」の取り組みを改めて紹介し、それらが何故、どのように評価できるのかということを、P Pを使って喋ったが、聞いていた参加者にとってはどうであったろうか?ただし、学生達には、少し難しかったかもしれない??

次に、それが終わると、予定していた新年会のために、すぐに我が家に戻った!遅ればせながらの会ではあったが、他にも名目が増え(H君の婚姻届け、U君の婚約祝い等)、賑やか、かつ楽しい集まりとなった!ワインの提供者?でもあるKさんも、少し遅れてではあったが駆けつけてくれて、新たな出会いの場ともなった!Kさん、本当にありがとう!

なお、このワインに酔ったのであろうか?大切に使ってきた(はず?)のコーヒーメーカーを床に落としてしまって、ガラス?の容器が割れてしまった! あまり酔ってはいないと思っていたので、今でも信じられない??ないと困るので、早速昨日新しいものに買い替えたが、意識とは裏腹に、つい手許を滑らし てしまったようである?!何とも、お恥ずかしい(個人的には忌々しい?)次第である!

最後になるが、今日は全国的にも寒く、ここ沖縄も、肌寒い一日が過ぎている!こんな日は、私の海(湾)なぞあまり見たくもないが、この時期にありがちな、まさに黒鉛色一杯の海面が、岸辺近くまで迫ってきている!

週末は、もっと寒くなりそうである?!早く温かい春が来て欲しいが、季節には、やはり順序?というものがあるので、それを待つ(凌ぐ?)しかない!いずれにしても、それぞれの時間が過ぎているのでもある!

- ・ これが最後の 研究会?! 未練はあるが 仕方ない! 次もある?!
- 分かって 欲しいことは 山ほどあるが されどそれらは いかに広がる?!
- ・ 名目は 新年会だが 沢山ある?!

とにかく歩め それぞれの人生?!

- ・ ワインをば こんなに沢山 飲んだこと なかった我だが 何に酔う?!

(1月21日)

124「坂」を後ろ向きに?!ひょとしたら、今の私はそうなのかも?!

今日は、1月30日(水)である。昨日、肌寒い東京から戻ったが、今日の沖縄は、朝からのどかな天気となっており、遠くの私の海(湾)は、遅い朝日に照らされて、薄靄がかった水面が静かに横たわっている!

もちろんあの蒼碧の海ではないが、何ともうららかな春日和?を醸し出している!明後日から、恒例のプロ野球キャンプが、数は減ったが、ここ沖縄でスタートする! "球春"と言うが、まさにそれの到来である?!

ただし、沖縄は、その2月は、私の経験(記憶感覚?)で言うと、そんなに 天候は良くなく?、結構雨の日も多い?!今日のような天気が、これからずっと 続くことを望むが、果たしてどうなのだろうか?!

ところで、そういうことで、今日は、天気もよかったので、珍しく?午前中 にウォーキングに出かけた!ちょっとした買い物があったので、私の奥さんと 二人で出かけたのであるが、ついでに、いつか訪ねようと思っていた、森川公 園の向こうの、坂の上の喫茶店?に足を運んだ!

かなりの坂道であり、そこに行き着くルートも、なかなか見つからなかったが、やっと見つけて辿りついた!すぐ上は、まさに普天間基地である!

着いてみると、この辺では珍しくない、かの「外人住宅」を改造した?、ある種の衣服店(アンティーク風?)とハンバーガー屋さんの共同(融合?)店であった?!もちろんコーヒーも扱っており、庭テーブルに座って、正面の東シナ海を眺めながら、ゆったりとした一時を過ごすにはうってつけの場所である!

目前に、二つの高いビルが視界を遮り、若干残念ではあるが、隠れたポイント(客があまり来ない?)であることは間違いない?!丁度昼飯時でもあったので、ハンバーガーセットとジュースをたのんで、店の若い?オーナー(の一人)とよもやま話もしながら、ちょっとだけ違う非日常を過ごした!多分また、天気のよい日にはここに来ることになろう?!

その後、最近はあまり行かなくなっていた(ある理由があって!)森川公園に行こうということで、そこも訪ねた!例の寒緋桜の花も、ある木ではかなり満開に近くなっており、いよいよ沖縄の桜の本番?ということが実感された!

途中の坂道を、同行している奥さんが、後ろ向きで上ると健康にもよいということで、私も、仕方なく?真似てそうして上ったが、なかなかうまくいかず、しかもかなりきつかった?!ある意味、その歩き方(上り方?)は、まるで今の私のような前期高齢者の生活感覚に、ぴったりのような気もした?!

と言うのも、老後は、一般的には「下り坂 (すべてのことが下降する?)」ということであるが、私には、それだとて「上り坂」のような気もするのである?! 身体の老化現象 (足腰の弱化等) が進み、何をするにも動作が鈍くなり、そんな自分が情けなく、筋トレや柔軟体操が必要だと思っても (畑仕事も?)、なか なか実行・継続が難しく、それらが、かなりのハードル(坂)にも思えてくるのである?!

上り切って、後は下るだけでよいのであれば楽であるが、現実はそうではない!生きているということは、死ぬまで上ることでもある?!うしろ向きで坂を上るのであるが、視線を上げると、下界(遠ざかる光景?)が、一面に広がって見える!

それはまるで、今の自分が、過ぎ去っていった、これまでの様々な光景や出来事を俯瞰しているような感じでもある?!

- ・ 春日和! ずっと続けと 願いはするが それは無理?! キャンプどうなる?!
- 見つかった? 新たな居場所?!増えた休日 そこで過ごす?! それは粋?!
- ・ 上り坂 後ろ向きで 歩いている!それはまさしく 今のわれ?!
- ・ 過ぎ去りし 事や物が 遠ざかる?!上りの坂を 後ろ歩きせば?!

(1月30日)

125 "球春 "に広がる期待?!今年も出会った素敵な人々!いざ!

今日は、2月2日(土)である。あっと?いう間に、ひと月が過ぎた!今日も、かなりの雲が覆ってはいるが、のどかな春日和ではある!あいにく昨日(正確には夜半!)は、突然の寒冷前線の通過によって、ミニ台風?の襲来となった沖縄ではあるが、昨日キャンプインしたプロ野球の球団にとっては、絶好のコンディションとなろう!

明日は日曜日!体力づくりの意味も込めて、浦添のスワローズか、宜野湾のベイスターズか、どちらかの球場に足を運ぶとしよう!ただし、明日の天気がどうなるのか?現時点では、確かめていない!

さて、今週は、月~火(東京)、そして、この木~金と、国社研の「社会教育主事講習」にまるまる関わった週であった!前半の東京では、愛知県の小牧市の事例の縁で、二人の行政職員との出会いがあった!特に、社会教育主事のHさんは、1昨年の同講習で受講者であったらしく、何かの因縁を感じさせてもらった!

社会教育行政の微妙な立ち位置の中で、元気で、前向きな仕事をしている彼女を見て、本当にこれからも頑張って欲しいと、つくづく思った!終わった後も、我々の飲み会?にも参加してくれて(その日に帰らなければならなかったにも拘わらず)、本当に素敵な人であった!頑張れHさん!頑張れ小牧市!

一方、後半の沖縄会場のものは、宿泊研修で、県立糸満青少年の家に行っていた!1年振りの訪問であったが、実は私の担当講義が1日半のものであったので、宿泊もした(私のために?連日の懇親会も用意されていた!)。講義名は「参加型学習の実際とファシリテーション技法」ということで、いわゆるワークショップ型の学習の意義の理解と、その実体験というようなコマであった!

私自身は、その専門家ではないのであるが、講習の最後に行われる「演習 (グループワーク)」のためにも、何とか雰囲気づくりとか、何よりそれぞれの事業計画づくりの予行演習になればということで、下手な模擬授業を展開したということである?!

人数が少なかったということもあろうが、受講者のみなさん達(61歳の元小学校の校長もいた!)は、逸早く打ち解けていて、WSも、本当にスムーズに、しかも楽しく終えることが出来た!お世辞抜きで、彼らは社会教育主事としての資質十分な人達ばかりであった!今年は(も?)特に、彼らの今後に、大いに期待できると思った(一人複雑な事情の青年?もいたが!)。

ちなみに、そこに宿泊していた中国の子達(サッカー名目の日本旅行?富裕層の子達だという!)のマナー(育ち?)の悪さ?が気になった?!と言うより、「腹立たしかった!」(文化の違いとは言え?!)。他国の将来を気遣うのもどうかとは思うが、「中国よ!本当にこれでいいのか?」、そうも思った?!

最後になるが、来週(金曜日)で、いよいよ私の琉球大学での最後の授業が終わる!正直言って、何の感慨もない?!3年前に退職し、この3年間は、いわゆる「非常勤講師」としてのそれであったので、実質的には、私の教員としての最後はそこにあった?!

その時は、本当に初めての?経験(いきさつも含めて!)であったので、冷静な終わり方が出来なかったわけであるが、こうして、改めて"その時"を迎えてみると、自分でも不思議なくらい淡々としているのである?!要は、格好をつける理由が、既になくなっているということでもある?!

- ・ 突然の 寒冷前線 ミニ台風?! それも過ぎにし 春日和?!
- ・ 今年も $ule{BB}$ 会った! 心ある $ule{AB}$ $ule{BB}$ $ule{BB}$ そうでなければ?!
- ・ 文化の違い? そんなものでは 済まされじ?!人間が育つ それは変わらじ?!
- ・ 刻々と 迫る最後の 私の授業!こんな形で 終わろうとは?!

(2月2日)

126 本当に、遠きあの頃?!だが、素直に思い出せばすぐそこに?!

今日は、2月9日(土)である。今週(前半)は、広島時代の友人M君(学部の1年後輩?だが、年齢は彼の方が一つ上!)との再会が、やはり大きい!彼は、現在東北のある大学の教員であるが、39年間の勤務を終え、この3月に退職するということである!「ご苦労さん!」ということでの、沖縄出張ということであったということである?!

何故沖縄か?ではあるが、彼とは昨年、広島での共通の友人の退職記念パーティで出会っていた!その時はほとんど話も出来なかったのであるが、今回そのことがきっかけで(私のことを思い出して?)、沖縄を出張先に選んだそうである!とにかく、沖縄と私がリンクした「慰労の旅」であったということである?!

ただし、当初その話を受けた時は、かなり複雑な思いではあった?!何せ広島は、私にとってはかなり微妙な、否、正直言って、あまり思い出したくない?場所であったからである?!でも、何故か引き受けてしまったのである?!そして、まさかの一泊の二人旅をすることになったのでもある!

そんなこんなで、45 年振り?に彼と出会い、都合3日間のつき合いをさせてもらったのであるが、彼の人徳?もあり、本当に遠きあの頃ではあったが、意外と素直に?その時代が思い出され、北部での1泊時は、ほとんど当時の若者(達)に戻っていた?!

ちなみに、その絶頂?が、M君が昨年広島でセットしたという LINE を使って、当時の女子学生 2人(同じ学科であったが、私は1年留年?していたので、卒業年度が一緒!同級生と言えば、同級生?!)に連絡を取り、サプライズの(迷惑な?)よもやま話をしたことである?!私達もそうであるが、彼女達も同じように年を重ね、二人とも、いいおばあちゃん?になっていた!

無理を言って?写真も送ってもらったが、そんなには(ほとんど?)老けていなかった!私(達?)とはえらい違いであった(本当である!)?!いずれにしても、それぞれの長い歳月があったにも関わらず、あのように語り合えるとは…。陳腐だが、「青春」とはそういうものであろう?!

ところで、昨日は、先号でも書いたように、とうとう私の、学生への授業の最終日であった!たった3人の授業で、しかも最後に試験をすることになっていたので、粛々とした(かなり寂しい?)最後になるであろうと思っていたが、実はそうではなかった!一部の、最後の年度の卒業生達(ゼミ生だけではない!)が教室に顔を出してくれて、ちょっとした「最終講義?」の形をつくってくれた!

受講していた学生達にとっては、かなり迷惑な時間であったかもしれないが (試験を先に終わらせたこともあり?)、私にとっては、本当に嬉しい時間とな

った!そこには、今北海道に住んでいる卒業生Oさん(ゼミ生ではないが、よく研究室に出入りをしていた女子学生。今回、友人の結婚式ということで、この日来沖した!)も入り、ある意味奇妙な再会の場ともなった?!

それが終わって、予定していた、Oさんの「お帰り会?」を、今は懐かしき 「居酒屋大学」(最後の辺りは、打ち上げ会等は、ほとんどここでやっていた!) で行い、ここで合流した所縁の卒業生達とも、互いに懐かしい再会を楽しん だ!

そこには、気になっていた?Mさんも顔を出してくれ、単なる「ミニ同窓会」ではなく、新たな交流?が、再び始まるような期待も感じさせるものであった!少し年を重ねた?若者達に感謝である!

- ・ 45 年の 月日の流れ! 思ったよりは 隔絶なし?! それは何故?
- ・ 変わるもの すべてがそれと 思いしも 変わらず残る 青春の日々?!
- 遥か昔に 逆戻り?!
 それでもすぐに 時計の針は 右回転る?!
- ・ やっと終わった 最後の授業!駆けつけた 若者達の 情けに感謝!

(2月9日)

127 職場は、終わってみれば唯の場所?!その光景も他人のもの?!

今日は、2月15日(金)である。昨日のヴァレンタインデーも、今やまったく蚊帳の外で、それはそれでよいのであるが(本当である!)、往時の?私からすれば、まさにそれは昔日の感、しきりであった?!

また、11 日の「建国記念の日」(戦前の「紀元節」!) も、改めて (新聞によると!)、その制定の趣旨は分かったが (B C 660 年とされる、神武の即位年月日そのものを祝うものではないということらしい!だから、間に「の」がある?!)、それにしても、古代史をかじっている私にしてみれば、なかなかその日を祝う気にはなれない?!

ただし、一国の「建国」(と呼べるもの!)が、一体いつなのか分からない(決められない?)のも困ったものではある?!そしてまた、そうした建国のことを国民全体が祝えない(考えない?)のも、ある意味では情けない?のかもしれない?!

それにしても、「国(家)」とは何なのか?歴史的にもそうであるが、現実にも、なかなか同定が難しいということである?!逆に言えば、「国(家)」とは、まさにそういうものなのかもしれない?!

要は、どのように、それを認める(実感できる?)かということであろうが、様々に生き合い、変動を繰り返してきた(生きて来なければならなかった!)人類において、万人が一つになることは、多分出来ないのであろう?!

そのことは、今の我が国においても、如実に示されている?!悲しい(哀しい?)現実ではあるが、その時々に生きる人間は、それを、自分達なりに克服していくしかない?!たとえ、ある時はいがみ合っていても?!それしかないのでもある?!

さて、8日に、大学での最後の授業を終えた私であるが、一昨日(13日)、評価資料をもって大学に出かけた!体力づくりの意味もあって(散髪も兼ねて!)、自宅から歩いていったが、往路はほとんどが登りであるので、かなりのきつさであった!

無事に学部事務室に到着し、その評価資料を渡して、そこに居た職員のみなさんに、簡単な最後の挨拶を済ませて、帰路についた!戻りは、懐かしい「北口」からと決めていたので、すぐにキャンパス中央のプロムナードに下り、図書館や食堂(生協)の横を通って、一度中庭で紫煙を燻らし(これも懐かしい!)、やおら北口に向かった!

「球陽橋」を渡り、農学部と工学部の間の桜並木を見遣りながら、ループ道路の交差点を横切り、北口門の守衛室の前を通り過ぎようとしていたら、友人?のNさんの姿が見えたので、軽く声を掛け、「これが最後の大学です」と伝えた!

ちょっと残念そうであったが(気のせい?)、それにしても、大学の守衛さんとしては、あの笑顔が象徴するように、彼は天職?だったのではないだろうか?!私よりかなり?年配であると思うが、まだまだ頑張るということであった!

このように、人の仕事、関係は、全体としては、ほとんど変わりがないように見えるのであるが、その中で、構成人は常に入れ替わっていくのでもある?! そして、その一人ひとりにとっては、変わらずそこにある光景なのでもあるが、その光景は、まったく自分のものではなくなるのでもある?!

これが、退職ということでもあるのであろうが、何とも侘しいものではある?!しかし、私には、まだまだ私の光景がある!そしてまた、眺望もある!もう少しは、それを味わうことにしよう!

- ヴァレンタインデー 今やまったく 蚊帳の外!それでよいが 往時懐かし?!
- ・ *建国と そのこと記念うは 別なこと?! 願わくは 一緒であれ?!*
- ・ 天職と 思いつ過ごした こことても 終わればそこは ただの場所?!
- ・ 我が眺望も いずれまた 他人のもの?! ただしその時 も少し先?!

(2月15日)

128 近づくその日?!気温は上昇、まるで夏のよう?!だが、多雨!

今日は、2月22日(金)である。午前中の雨が嘘のように、今(午後4時)は、薄い青空が、視界一面に顔を出している!とにかく、予想通り?の多雨の中、最近では珍しい晴天である!気温は上がっていて、25℃を超えているかも?!私の海(湾)も、実に穏やかである!皮肉ではないが、何とも言えない「夏日和?」である!

プロ野球のキャンプは、その後どうなっているのであろうか?!そう言えば、 過日那覇に出かけ、巨人と DeNA の練習試合を見た。浦添や宜野湾の球場も、 それなりに観客はあるが、流石?巨人の試合とあって、セルラースタジアムは、 ほとんど満席であった!これもまた、この沖縄の現実ではあろう?!

さて、その沖縄であるが、明後日が、例の県民投票の日である。私の場合は、 一昨日、今日県外に出かけた奥さんと一緒に、期日前投票を行ったが、どのよ うな結果になるのであろうか?私からすれば、ある意味結果は分かっているよ うにも思われるが?、問題は、その後であることは言うまでもない!

いずれにしても、変わらぬ現実?は、そこにあるのであり、それをどう突破するかが、改めて問われるということである?!果たして、それはどうなるのであろうか?!

そんな中、『(大判) 社会教育』からの執筆依頼が、久し振りにあった!現在、早速その執筆を始めているが、今回のテーマ(社会教育法のレガシーを論ぜよ!) も、はなはだ気の重いものでもある!ただし、依頼された以上は、頑張ってみる他ない!

依頼メールには、私のこと?を「独立研究者」と表現されていたが、何とも 奇妙な言い様なのだろうと思いながらも、何故か悪い気持ちはしなかった(本 当である!かなり?乗せられたのかもしれない?!)。その真偽はともかく、何とか 期待に添いたいものではある!

ちなみに、この際と思って、同誌から依頼されたこれまでの論稿を(全部ではないが!)、合わせてまとめ、先程HP上にアップもした!相変わらず難しい筆致?であったが、一貫した論旨に、我ながら安堵もした?!

さらに、これもある意味心を動かされたのが、ここで何度か紹介もした、長野県のTさん(NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター・代表)からのメールであった。「山村留学」で、小学生?時代に1年間を過ごした村に、4人の住民が移住しているということであった!

この現象を、「Sターン」と呼ぶらしいが、Uターン、Iターンはよく聞くが、こうした動きは、まさしく私の言う「ひとづくりとまちづくりの循環」の、ある意味究極?の形ではないかとも思う!本当に、凄いものである!理屈抜きで称賛する次第である!これからも、日本のこれから(非都市部)をリード?

する、素晴らしい取り組みを期待するものである!

ちなみに、今朝のニュースで、2014年に打ち上げられていた「はやぶさ2」の快挙が報じられた。小惑星「リュウグウ」に到着して、任務を順調に遂行しているということであったが、ロマンを被せながらの、科学技術の進展は、本当に目を見張るものがある!

私のロマンは、同じ?古代史のそれであるが、しかし日々の私の関心事(任務?)は、体力づくりであり、健康(血糖値)との闘いでもある?!心許ないが、目指すぞ!一万歩!

- ・ レガシーと 呼べばそは 格好がつく?!だがまだまだ それには及ばず!
- ・ 凄い! まさに壮挙! ひとづくりと まちづくりの循環 そは究極の形?!
- ・ "かぐや "や"りゅうぐう" おとぎ話の ロマンに乗せて 科学技術は どこへ行く!
- ・ 目指せ 一万歩!それが出来ねば 君は危うし? 分かってはいる?!

(2月22日)

129 今年度、否、平成最後!やがて新たな時代?がやってくる?!

今日は、3月4日(月)である。あっという間に、逃げる二月も終わり、今年度(2018 年度)も、残すところあと一月弱となった。そして、四月には新たな元号が示される!我々は、様々な想いが去来する中、否が応でも、次の時代を迎えなければならない!その意味でも、多くの人達にとっては、大変重要な時期でもあろう!

そんな中、一昨日、年度(平成)最後の『岳陽』の仕上げ・発行を、三人の Next⁺の若者(F君、S君、O君)と一緒に行った!最近では、何でもかんでも 「平成最後の~」が使われるが、まさしくこれも、然りである!時期的に少し 早かったかもしれないが、若者達の都合もあり、少し早めのそれとなった。

新しく始めた『岳陽』の発刊も、これで3年目が終わるが、新たな年号とと もに、次なる飛躍が求められることは言うまでもない!

ちなみに、「マブヤー、マブヤー、ウーティクヨー(魂よ、魂よ、下りてこい)!」が今号のテーマであったが、彼らには、少し強引な?ものであったのかもしれない?!本来、これは、沖縄の人々の風習で、痛い(酷い)目にあった時のまじない(呪文)であるが(ちょっと哀しい生活の知恵?)、最近は、あまり使われなくなっているようである(お年寄りだけが使う?)?!

それはともかく、過日の、予想された県民投票の結果からも分かるように、ある意味沖縄は、「落とした(められた?)魂?」を、自らで取り戻そうとしているようにも思われる?!しかし、その魂は、今は(これからも?)なかなか戻れない?!やはり、次なる世代が、やるしかない?!

ところで、昨日は、桃の節句(ひな祭り)であった。一昨日の夜、何年ぶりかは覚えていないが(20年以上?)、我が家の懐かしいひな人形を、一階の狭い畳の間に、妻と一緒に飾った(ほとんど彼女のリードで!)。長女が生まれた後?、今は亡き私の両親が、当時かなり張り込んで?九州から送ってくれたものである!

三人娘であったので、その後、何年も狭い我が家に飾ったものであるが(広島、東京、沖縄と渡った!)、いつの頃からか、まったく飾ることはなかった!この度、これまた懐かしい箪笥の処分を決意した、我が奥さんが、その上に乗せてあったその代物も、一緒に廃棄したいということで、今回の仕儀となった次第である(終活の一環?)。

折角だからということで、県外に住む三人の娘とスカイプでつなぎ、そのひな人形にまつわる思い出話をし合ったが、私には、何とも切ない思いが去来した!長女によれば、ただ単に普通のごみと一緒に、人形が、あの収集車に投げ入れられるのは、何とも可哀想だというようなこともあったが、確かにそうかもしれないとは思うものの、他にどうしようもないので、近日中にそれは断行

されることであろう?!

ある家族の歴史?が消えていくということは、実はこういうことなのだとも思われ、本当に複雑であった?!尤も、そういう意味では、もう一つ大きな(重い?)思い出物があるが、それについては、今回は(も?)見送り?となった!だが、いずれはそれも、同じ運命とはなるであろう?!こうして、'あの頃'は過ぎ去っていくのでもある!

末尾になるが、最近は、本当に雨の日が多く、気温は高いものの、清々しい春の装いはあまり感じられない!あの海(湾)の蒼碧が懐かしい?!その海(湾)は、今、薄靄がかかり、中程の白波が、岸べにて弾けている!

・ 何でも最後? 否、すべて 始まりだ?!

それを象徴す 元号であれ!

- ・ "マブヤー" に 新す思いは それぞれか?! "ウーティクヨー"と 叫びはするが?!
- ・ ひな壇を 飾る二人は 老?夫婦! ・ 娘達の来し方 合わせ見る?!
- ・ 最期に残るは あれだけか?! 娘達は弾いたが そは妻の 夢でもあった?!
- ・ 薄靄の かかりし海 (湾) に うねり出る 微かな白波 岸にて弾く?!

(3月4日)

130気がつけば、いよいよあと半月!かなりのざわつきもある?!

今日は、3月 15 日(金)である。昨夜来の雨もほとんど止み、低く垂れ込んだ厚い雲に、海(湾)全体が覆われている。薄白く靄が掛かった状態で、海面は、まったく波打っていない!たまにあるが、遠くの水平線も、空と海の境界線がなく、まるで大きな湖のようでもある?!

そんな中、「逃げる二月も終わり、今年度(2018年度)も、残すところあと 一月弱となった」と、先号(129)で書いたが、驚くなかれ、今日は、もう3 月半ばである!この間、小学校への訪問(学校評議員会)やら、U市の市民大 学の10周年記念パーティ?への参加やら、本土からの来客やらと、外出する 機会が多かった!そんなことも、時間の経過に関係していることであろう?!

件の新元号の公表も、あと僅かである!あまり目立たないが、世間には、かなりのざわつきも感じられる?!

とは言え、私にとっては、ある意味、それよりは切実な?、三度の病院通いが、今週あった(先程、三つ目から戻った!)!二つは、年1回の診察(検査)日が、たまたま今週に重なったものであるが、もう一つは、それと分かっていながら、ローテーションの関係で(3カ月に1回)、集中させてしまったことによる!とにかく、このことも、時間の経過を早くさせたものでもあろう?!

ちなみに、年1回のそれは、ほとんど症状?に変化もなく、1年後にまたという結果であったが、3カ月に1度のそれは、ここ数年では、最悪の数値であった!折角事前対処して(本当である!)、その改善を期待していたのであるが、とんだカウンターパンチをくらった形である!

果たして、何が悪かったのか?!結構頑張って、運動(1万歩ウォーク!)も したので、油断?したのが、その原因であろう(結果的に、炭水化物を多く摂っ た?!)?!

ところで、最近、改めて「縄文」の意義?を教えられている?!私の、もう一つのライフワークである「古代史」のことであるが、我が国(日本)には、この「縄文」の魂が脈々と受け継がれているらしい?

その魂とは、自然との調和(畏敬と祭祀)、異なるものとの融和(交流と取捨選択?)ということであるが(ただし、それは「和解」、悪く言えば「妥協」?)、聖徳太子(架空?)に言わせた「和をもって尊しとなす!」、明治政府が言い放った「万機公論に決すべし!」、そして、戦後の「民主主義?話し合い?」と、表現の仕方、表面的な意味内容は異なるが、そこに流れる精神は通底しているのではないか(これ自体は、私の独断ではあるが!)?!

もちろん、これらは、実際には、ほとんど正当には実現され得ないものであるが (だからこそ?)、その精神は (だけは?) 大切にしたいということであり (関係性の維持!諍いを好まない!)、これらは、後から渡来した「弥生人(文化)」

に対する、「縄文人(文化)」の対処の仕方を、如実に?表しているとも言える?!接触・交流はするが(ある意味せざるを得ない!)、自分達にとって良いものだけを、慎重に?取捨選択して対処する(時間はかかるが、自分達のものとして工夫をし、採り入れる!)!

苦労しながら、やっと辿り着いた「最果ての地(日本列島)」で、静かに、平和に暮らしていきたい!それが、先着の「縄文人」の「思い」であり、「生きる力」「生活の知恵」でもあった?!だが、今は、それが見えなくなってもいる?!そんなことまで、思った次第である!

- 気がつけば あと半月! さわにざわつく?だが海(湾) は 静かに待つ?!
- ・期待して 訪ねた結果 大ショック?! やはり敵も したたかなり?!
- ・ それならば さらなる努力で 打ち負かす?! 決意も新たに 動き始める?!
- ・ "縄文" に見る "和" の 魂 ?

 そこにあるのは "生き延びること" "果ての術" ?!
- ・ 見直されてきたか? その心! \ddot{b} \ddot{c} $\ddot{$

(3月15日)

131 新元号もあと僅か!改めて始まる30年目の沖縄!何が待つ?!

今日は、3月26日(火)である。先号(130)を書いて、またしても、本当に あっという間に10日余が過ぎてしまった!何という日々の速さなのであろう か?!そして、改めて考えてみると、4月から30年目の沖縄となる!

それにしても、この間何をし、何を思い、ここまで来たのであろうか?!思い 出すことは、もちろん山ほどあるが、残念ながら?今は、ほとんど何の感慨も ない?!今住んでいるところが、たまたま沖縄だということでもあろう?!しかし、 そこに私は、しかと生きているのだから、それでよい!!

ふと窓の外を眺めると、久し振りに、少しくすんではいるが、蒼碧の海(湾)が眼前に横たわっている!私の日々は、まさに、それとともにあるのである?! さらに天気も回復し、「私の沖縄」、「私の海(湾)」は、最高潮である?!

さて、ある意味予想通りであるが、件の「沖縄」は、さらなる苦悩(怒り?)を呈し始めている!本音?を言うと、あまり触れたくはないのであるが、件の「沖縄」の怨念?正義?が、前面に出れば出るほど、対立(ねじれ?)の強度は増す?!しかし、その一方で、「対立(ねじれ?)」自体が、あまりにも膠着すると?、それを等閑視(無視?)する動き(力)も出て来る?!

何ということか!と、怒り、嘆きもするが、それも予想通り?、構図は変わらない?!見ているところが、違うと言えば違うのであろうが、これが、言わば「沖縄の苦悩の本質?」となっている?!この大謝名の地に移り住んでから思うのでもあろうが、その「対立(ねじれ?)」が、実際は、何かに翻弄されているようにも思われる?!

その何かは、なかなか表現できないが?、変わらず各種の轟音を発しながら、 我が家の上空を、何の頓着もなく離発着する(そう見える?)航空機がある?! それだけである?!

ところで、過日、二つの小学校の卒業式に参列した!ただし、申し訳ないが、 運動のために(ウォーキング!)参加したことは事実である!とは言え、それ ぞれの学校の式典の工夫は見事であり、そうした優しさ?の中で、子ども達は 巣立っていくのである?!是非、あの喜び、あの初々しさを、今後も持ち続けて 欲しいものである!

とにかく、(我が国の?)学校は、誰が何と言おうとも(一部?醜い、惨い事件もあることはあるが?)、素敵な場所であり、絶対になくてはならないものである!そんなことを、今回は、珍しく強く?思った次第でもある!

末尾になるが、4月から、新たな動き(「教育協働セミナー(仮称)」岳陽舎の新規事業?)を始めようと考えている!出前もありで、もちろん受講料自体は無料とする!この間頑張ってくれた Next⁺の活動に、もう一つ新たな動きを加え、「教育協働研究所」たる中身(面目?)を創り出すためでもある!

そう思っていた矢先に、ネットセミナー?の可能性(「ズーム」という遠隔会議システム?の活用!)が浮上してきた!なかなか容易に一堂に会せない今の我々にあっては、本当に便利なツールとなる?!これは、卒業生の、H大学のS准教授の協力(提案)によるものであるが、是非とも実現できたらと考えている!

私のような、オールドファッション?の世代には、何とも複雑な?現実であるが、活用できるものは、補助はもちろん前提?であるが、頑張ってみようと思っている!果たして、何が待つ?!とにかく、AIにしろ、何にしろ、昨今のICTの進歩、威力?には脱帽である!

- 気がつけば 何と30年!何をして 何を思い ここまで来たか?!
- ・ ただ眼前に 横たうだけの *蒼碧の海(湾)!* それに魅せられ 住まうだけ?!
- ・ 怨念、正義?! 出せば出すほど ねじれ増す?! されど我が上空 頓着なし?!
- ・ 工夫して 児童を祝う 優しさに いかほど気づく 我以外?!
- ・ 及びもしない ツールとて 補助があれば こんな我でも 喜びに?!

(3月26日)

132 いよいよ始まる「令和」の時代!だが日々は、いつものように?!

今日は、4月1日(月)である。新たな年度の始まりである!そして、先程、 来月からの新年号「令和_{れいわ}」も発表された!いよいよ、新時代が始まるわけ でもある?!

驚いたことに、この記事を書いている今 (13:00)、「令和」を、パソコンで入力したが、早速?漢字変換が出来た!何故だか、私にはよく分からないが(単に、現在の変換ソフトに即時追加された?そんなことが出来るのか??)、典拠が、あの『万葉集』、しかも「筑紫歌壇」にあることも含めて、(「古代史」を少しかじっている私からすれば?)本当に不思議な感覚であった?!

それはともかく、テレビでも言っていたが、最初は、なかなか馴染まないであろうが、いずれ当たり前のように使われることであろう?!元号とは、そういうものである?!

ところで、私がこんなことを言っても仕方がないが(否、不遜かもしれないが?)、「令和」の、標記上の違和感(字のバランス?)もさることながら(書のことは、まったくの門外漢(下手!)であるので、単なる手前勝手だが?)、その違和感?には、別な原因があるようにも思った?!

と言うのも、「令」は、「法令」「律令」というような用法で、別な意味で? 慣れ親しんでいる漢字である?!それが、何故、元号(雅号)に?ということである?!

別にこだわりはないが、一度くらいは、その語源を見ても良いかなとも思い、 手許の漢和辞典(旺文社)を見てみると、二つの意味があった! すなわち、「よい(善)」という意味と、「人を集めて言いつける(命令)」という意味である(これについては、誰かが、秘かに?囁くかもしれない?)!

どうして、そのような二つの意味があるのかは分からないが、政府が説明していた意味においては、音とともに、異議申し立てはまったくない!「よい」という意味が、それこそ期待通りに実現されるならば、それはそれでよいである!切に、そのことを望むだけである!

ネット情報では、その年号を予想していた人がいるとか?!何とも喧しい一日となっているが、冷静に捉えれば、いつもの一日、24 時間ではある?!強いて言えば、今日は、宮崎の、私の二人の孫の誕生日!そして、以前は、「エイプリルフール」と呼んだ日でもある?!

このように、日々は、これからも、いつものように過ぎていく!ただ、一方で、今日もそうであるが、「さる人」も含めて、そうした日々を、覚悟をもって、しかも粛々と生きている人の生き様が、強く胸に迫ってくる!

ということで、最後に、「降る雪や 明治は 遠くなりにけり」(中村草田男) という有名な俳句?があるが、今の私にしてみれば、そんな思いが、これから 切実な思いとなって、膨らんでいくことであろう?!その句自体は、去りゆく自分の時代(明治)を、半ば哀切に詠んだものであろうが、これからの私には、まさしく「明治が昭和に替わるだけ」で、まったくその思いは同じとなろう?! ただ、私が住んでいるのは沖縄であり、件の句は、まったくあり得ない!そこで、今、私のベランダを吹き抜ける風(顔をしかめる厄介なものも多いが、それぞれの風が吹き抜ける!)を代用すると、此度は、「吹く春風かぜや 昭和は遠く なりにけり」!

とまあ、こういうことになろうか?!梅を愛でることもほとんどないが、これ も、私が生きる時代の一コマではあるのだから?!

- 次の時代は "令和" とぞ!
 とにかく尽くせ その願い! 我はどう生く?!
- ・ "万葉集" まさかこの期に 呼び出さる?! 編者の想いは いかばかり?!
- ・ "象徴"に 運命とは言え 身を置くも かくも君 よく振る舞えし!
- 様々な 生き様・覚悟 見せられし!今の我が身は それと比べば?!
- ・ されど日々 いつものように 過ごすのみ?! それも一つの 時代とて?!

(4月1日)

133 あっと言う間の 1 週間?!だが、新しい年度は始まっているのだ?!

今日は、4月9日(火)である。とにかく、新しい年号「令和」が発表されて、あっという間の1週間であった?!新年号については、予想通り?賛否両論が飛び交っているようであるが、来月から、この年号で動いていくことには変わりはないので、前向きに捉えていく他ない!

ちなみに、撰出過程等については、30年間公表されないと聞いていた?が、何のことはない?!すぐ翌日には、他の候補も含めて、すべてが?あからさまとなった!何ということであろうか?!まるで、誰(どこ)かのスキャンダル・ネタのようでもあった?!

情報(の扱い?)が軽いと言えば、それまでであるが、「元号」という、物がものだけに、もう少し威厳のある?扱いが出来なかったのであろうか?!ある意味、困ったもの(国?)である?!しかも、典拠の『万葉集』が、ぞろ読まれ始めたとか?!

まあ、それはそれでよいのであろうが、今日の午前中、2年目となる?学校評議員の関係で、G市立S小学校の入学式に足を運んだ!お兄ちゃん・お姉ちゃん(新6年生)に手を引かれて入場してきた可愛い新1年生であったが、その二つのコントラストは、子どもの成長の、典型的な姿かとも思われた(当たり前ではあるが?)!

いずれにしても、双方共に健やかに育って欲しいものである!驚いたことに、その1年生の担任の一人が、ある時期の島嶼文化教育コースの卒業生だったように思う?!苗字は違っていたが、名前が同じだったので、多分彼女だと思われるが、なかなか板についた?小学校教師振りであった(残念ながら、確かめることは出来なかった!)?!みんな、それ相応になっていくものだなあと、改めて思ったりもした!

ところで、今(タ方)、テレビで見たが、2024年?に、新紙幣が発行される そうである!改元に伴う動きであろうが、またしても、自分自身が、さらに古 い人間となりそうである?!ちなみに、新紙幣は、渋沢栄一(1万円札)、津田 梅子(5千円札)、北里柴三郎(千円札)ということらしい?!

詳しくは知らないが(本当である!)、どれもが、懐かしい?顔ではあるが(歴史的業績も含めて!)、その意味では、まだまだ古い時代の意味や価値は健在なのかとも感じる?!若い世代、そしてこれから生まれてくる「令和世代」の人達は、このお札(人)と、どういうつき合い方をするのであろうか?!

末尾になるが、"人生 100 年時代"というが、最長で 90 年近く?違う世代の人間が (ほとんどの場合!)、さりげなく入れ替わりながら、その時々の「その時」を共有し、生き合っているのが、我々人間の社会であり (「日本」という国ではあるが!)、そこに様々な喜怒哀楽が繰り広げられるわけである!

そんな中、今日の、小学校の入学式で、その種のすべての儀式(ある種の「イニシェーション」!) は終わる?!それぞれが、新たなスタートを切るということであるが、そうした「その時」は、どんな世代の人達にも、それなりに用意はされている?!

新入生、新入職(社)員はもちろんであるが、新退職者?、そして、人生には、他にも様々な出発、再出発がある!それらも含めて、「頑張れ!〇〇新人?」と言っておこう!私も、今年度からは、大学の講義をまったくもたない「新〇〇」である?!これもまた、新たなスタート?でもあるわけである?!

- ・ 存在自体 軽いのか それとも意識?・ 改めて 「元号」とは何?!
- あの頃の 女子学生が 一人また!ならぬと言って 今はそれらし?!
- ・ *"その時" は 90 年 ? の 幅がある?!* 故にそれぞれ 役割違う?!
- ・ 学校以外に 様々にいる 一年生?!そこにある それぞれの生?!
- ・ 各々みんな 新〇〇?! だから頑張ろう! そうでなければ それこそ寂し?!

(4月9日)

134年に一度のその日であるが、此度は、かなり違った趣きがある?!

今日は、4月17日(水)である。昨日の雨が嘘のように、今(午前10時)は、春の清々しい(実際は、かなり湿っぽい?)風が吹き抜け、彼方の東シナ海(湾)は、少しばかりうねりがあるようで、陽光に照らされた蒼碧の海面に、無数の白波が飛び跳ねている!

かなりの北西風が、容赦なく吹き寄せているからであろう!しかし、爽やかな春の一日であることに変わりはない!しばらくすると(5月初旬?)、ここ沖縄では梅雨入りもあるであろうが、せっかくの?超大型連休が明けるまでは、その日が来ないことを祈るだけである!

さて、実は今日は、私の、67回目の誕生日である!"人生 100 年時代"からすれば、まだまだほんの若僧?ではあるが、かなりの年月を生きてきたものである!"老人"という自覚はまったくないが(本当は、至るところにその証拠はあるが?)、それに近づいていることだけは事実であろう?!

いずれにしても、年に一度のその日ではあるが、今回は、かなり違った趣きがあるようにも感じる?!その理由の一つが、昨晩戻った福岡への旅であろう?! その旅?とは、僅か3泊4日の、福岡・壱岐への旅?であったが、これまでとはまったく違った人々との出会い(再会?)、そして、初めて訪れた土地(島)での素敵な?時間であった!名目?は、福岡で開かれた高校時代の同期会への出席であったが(沖縄からの特別参加?)、日常からの小逃避?という意味合いもあった?!

40名くらいの参加者であったが (一クラス分!)、それぞれ齢を重ね (ほとんどが悠々自適?の生活者となっている?)、二次会の全員スピーチでは、本当に味のある自己紹介、近況報告もあり、歳月の流れ、そして、その重みをつくづく思い知らされた次第である!学校を介した関係は、本当に理屈抜きで、"よいもの"である!

ところで、壱岐への旅は、その同期会のプログラムの一つであったが、いの一番で参加を申し込んだ私である(奇妙な?取り合わせ?男女合わせて9人!)。 これまで行ったことがなかったことが、一番の理由であるが、私の関心からは、何と言っても、「魏志倭人伝」中の壱岐(一大)?国の「原の辻遺跡」訪問があった!

予想外であったが、海からかなり内陸部に入り込んだ所に、それはあった!河川を利用した古代環濠集落のあり方であろうが、何故こんな所に、こんな大きな集落跡が?!しかも、その他の古墳群も、周辺にはあった(「双六古墳」という大きな前方後円墳の頂上に上り、両手を突き上げ、えも知れぬ爽快感も得た!)!何という、古代の人の知恵と力?であろうか?!実に、驚くばかりであった!余計なことだが、海の景色等は、意外にも?沖縄とよく似ていた!

巨大岩ガキ、麦焼酎 (発祥の地)、壱岐牛 etc.! その土地々に、名産あり?! だが、圧巻?は、「電力の鬼」と称されたという「松永安左エ門」の生家訪問であった! 最初、それについては、ほとんど関心はなかったが (恥ずかしながら、この人物のことはまったく知らず!)、戦後の日本を支えた (創った?)、とんでもない偉人であったようである!

まさかこんな人物が、この土地にいようとは?!もちろん故人ではあるが、いずれ、NHKの大河ドラマで扱うべき御仁であるように思う!93 歳時の鬼の形相(写真)は、これまでで一番の「人間の顔」のように思えた!ああ、何と私は、物、人を知らずに、これまで生きてきたのか?!

- ・ この旅は 我が青春を 思い出す? -2 そんな想いで 飛んでいた?!
- ・ 以前のそれとは 何かが違う?! それもそのはず 邪心なし?! まして見栄なぞ?!
- 48年! いろんなことがあった?!されど今 互いがそれを 受け入れる?!
- ・ 壱岐だけに 行きも帰りも 粋である?!集いし旧友 生きている?!
- ・ こんな御仁が この土地に!

日本の僻地が 人間を生む?! それは何故?!

(4月17日)

135 残すところ9日!梅雨入りは、可能な限り先延ばしでよい?!

今日は、4月22日(月)である。今(午後3時)、ふと視線の向こう(本当にそうなのである!)の東シナ海(湾)を見遣れば、遥か彼方の水平線近くの、筋状となった横一線の海の蒼碧を除けば、ほぼ薄い焦げ茶色?の水面で覆われている!

多分?干潮時(大潮?)の影響であろうか、かなりの浅さである?!波はほとんどなく、まるで干潟の様でもある?!たまにこんな光景が現われるのであるが、それはそれで、仕方がないことであろう?!とは言え、やはり私は、あの満面蒼碧の水を湛えた海(湾)の眺望が好きである!

多少どんよりとした灰白色の雲が、その上空にほとんど停滞していて、まるで梅雨入り間近を予告しているようにも思えるが、折角の超大型連休を目前に控え、何とか持ちこたえて欲しいと願うのみである!

そう書いていたら、薄柔らかい日差しが、対面の読谷半島を、くっきりと浮かび上がらせ始めた!まだまだ、沖縄も春なのである?!否、気温的には、夏なのかな (25°) ?!

ところで、新しい時代「令和」の始まりも、残すところ9日となった!過日、67回目の誕生日を終え、その数日前の九州への旅(同期会)も含めて、過ぎ去ったこれまでと、そこにあった我が青春、我が人間関係の懐かしさ(有難さ?)を感じ入りながらのその後であったが、一方で、いわゆる社会的(政治的?)な事柄については、ほとんど関心を向けていなかった私である?!

多少の申し訳なさを感じないわけではないが、それはそれで、仕方がないのだとも思っている!改めて、多くは語りたくないが、何か虚しさ(空々しさ?)を感じるのである?!ただし、一生懸命に取り組んでいる人達への批判や注文は、何一つない!信ずるところを、精一杯頑張って欲しいだけである!

そんな中、一部の卒業生達の職場決定、移動、転勤の話が、遅ればせながら入ってきた。みんな、目前の仕事、課題で精一杯のようである!連絡などは、必要ない!まずは、それでいいのである!

最後になるが、今年度から、我が"岳陽舎"の新規事業として、卒業生のS君(H教育大学准教授)の理解と協力を得て、Z00M(ズーム)というテレビ会議システムを活用して、「教育協働セミナー」なる会を始めた!

先日 20 日が、その「キックオフ会」であったが、岩手県と北海道の中学校の校長先生(一人は元!)の参加があり、当方は、こちらも元小学校長のMさんとイノベーション next+のF君、S君が参画してくれて、予想していたものよりは、はるかによかった!今後も、是非続けて(拡大させて)いくつもりである!

ついでながら、ある意味どうでもよい話ではあるが、「日本教育新聞」の購

読中止を決意し、今日、最後の号と、この間の購読料の請求書が送られてきた。

同紙には申し訳ないが、今の私にしてみれば、ほとんどの紙面が、あまり面白くなく(有意味ではない?)、経費の問題もあるので、購読を止めようとしたのであるが、何故か、上記卒業生S君(この場合は「先生」!)の記事が載っていた(4面「学校を変える100の視点」)!

本人に聞いてみると、後6回の掲載があるらしい!流石に、ちょっと早まったかなとも思ったが、中止手続きも進行しているので、残念ながら、同君(先生!)の記事は、別途算段することになる?!皮肉?なものではある?!

- ・ こげ茶?の海 梅雨が近いと 告げるよう? ただそれは 勝手な解釈?!
- ・ 様々に 動いているぞ この社会?! されどそを 我が心見ず?!
- 回りまわって 届く知らせ!みな目前で 生きている! それでよい!
- ズームとやら こんな便利な システムとは?!さりとてそれも 仲間いればこそ?!
- \cdot 早まったか? 皮肉なものだが こんなもの?! 紙面よりは 人の縁!

(4月22日)

136評価されるは、例え誰であろうとも、その「生き様」なのだ?!

今日は、4月30日(火)である。これについては、あまり触れたくはなかったが?、ついに、平成最後の日となった!暦では、「平成の天皇退位の日」とある!そして、明日が「新天皇即位の日」とある!この両日は、今回に限って「国民の祝日」とされるが(だから、超大型の連休となる!)、とにかく、大きな代替わりを寿ぐ日となる!

昨日の、ある新聞(もちろん地元紙!)が、小さなコラム?で、この機に、「天皇制」についての論議(是非あるいは継承の仕方?)を行うべきであったが、結局はなされなかったというような意見を書いていた(確かに、そうかもしれない?!)!しかし、私は、何故か逆に、それがなかったことに、ある種の安堵?を覚えている!

その理由は、他でもない!ひょんなことから、昨日のNHKテレビの再放送?で、現天皇・皇后のこれまでを見たからである!マスコミ、そして背後の政治?の思惑等で、今回もまた流されたのであろうが、そういう下手な詮索?などを通り越して、この二人は、誠実に?自らの運命?を引き受けながら(そこにあった彼らの人生の枠組みは、時の流れ、ある人達の思惑に、ほとんど操られてきた?)、実に健気に、自分達の生き様を創っていった?!

そのことに、無条件の賛辞と敬意を表したいと思った!したがって、それは、「下種な?政治談議」なぞ、まったく不要な「天皇熟考」の時となった!私は、これでいいと(少なくとも現時点では!)、心から思った!もし、やっていたら、あの二人の崇高な生を、まったく冒瀆するものになっていた?!そう、思うのである!

人間は、当たり前のことを言うようだが、自らの意思とはまったく無関係に(もちろん、「後からの理由付け」はいろいろと出来るが!)、ある日突然、ある所に生まれいずる!そして、その生まれいずった原因となった大人達(直接的には両親!)、そして彼らが作り出している人間関係、生活状況によって(いい生まれだとか、悪い生まれだとかということにもなるが?)、自分の運命(その後の生活)は、まずは、そうした、まったく自らが与り知らぬところからスタートする!

しかしながら、その運命に、どのように向かい、どのように左右されるかは、 その人の、それからの生き様次第ということになる?!ただし、難しいのは、そ の最初のスタートが、どの程度、その人の、それからの頑張りによって報われ るかであるが、これについては、今回は、ここまでにしておこう?!

ところで、突然ではあるが、上記のこともあって、何か自分自身の内なる変化を求めて(便乗?)、このシリーズを変えようと思う!3年半余、我が家のベランダからの眺望にかこつけて、我が日常、そして思うところを、まさに「つれづれなるままに」書き記してきたが、眺望だけであったら、毎年そんなに変

わることはない!したがって、書くことも、段々と少なくなる(飽きてきた?)?! もちろん、それだけではなかったことも事実であるが、多少スタンス?を変えて、別なシリーズ (タイトル) で、新たな出発を行いたいということである!

タイトルはまだ決めていないが、最近の私の、ほぼ日課?となっている「健康ウォーキング」(「目指せ!ー万歩!」)に因むものを考えている?!そのコース取りは、大きくは二つあって、ひたすら坂道を下り、海に向かっていく、そして戻る「コンベンションセンター」(トロピカルビーチ)コースと、途中の横道を長く周回する「森川公園・宇地泊川」コースである!

前者は、他人の生活・余暇のあれこれが見れる「社会参画?コース」、後者は、ほとんどそういう光景とは無縁な、散策や、自然を愛でる「思索・逍遥?コース」とでも言えようか?!はっきり言って、陥り始めている「高齢者の四苦(経済苦・病気苦・孤独苦・無為苦)」への抗いと言えなくもないが、とにかく、最後の「無為苦」だけは、何とも避けたいものである!

- ・ 触れまいと 思っていたが 出来なかった?! 何がそうさせたのか? 答えは一つ?!
- 運命に 翻弄されしも 生きてきた!そんな人達の生き様を 誰が断ぜる?!
- ・ トロピーを 歩いておれば 様々に 娘達の今を 連想す!
- ・ 何故に カント、坪内? 逍遥いたか? まさか「無為苦」の ためでなし?! (4月30日)

堂 本 彰 夫

短歌集

~過ぎ去りし日々~

○刊行にあたって(平成 29 年 9 月)

この短歌集は、私 (井上こと堂本) が、広島での学生生活の一端を含んで、その後沖縄に赴任してこの間 (1990 年以降)、人との出会い、研究会等の開催、学会・講演等の旅先等にて、折に触れて、見たこと、感じたこと等を、自らの交流誌「千原通信」(第1号:1990.6~第40号:1995.3)及び、その後身の研究室通信「南風の国から」(第1号:2000.6~第60号:2015.12)、「別刊南風の国から」(第1号:2003.4~第44号:2011.4)で書き綴ったものを、改めて、私なりの「短歌集」としてまとめたものである。

形式や内容は、もちろん通常の短歌としては、不具合のものも多々あるし、他人に見せられるような代物ではないことは分かってはいるが、私にとっては、すべてが懐かしく、意味あるものであり、新たな、これからの日々の意味?を、機会あるごとに逆照射(反芻?)するものとして、秘かに形にしておきたいということである!単純に言えば、私自身の「過ぎ去りし日々」の思い出として、手許に残しておきたいということである!

ということで、こんな形で世に出す?ことに、かなりの気恥ずかしさ (失礼さ?)を感じないわけではないが、これまで出くわした人々 (縁の人々)、ひょんなことからこれを読んで貰える?人々、とにかく、何らかの想いを共有していただければ、望外の喜びではある?!

なお、本来所収されている、それこそ私(達)の長年の歩みを記す?、それぞれの「千原通信」「南風の国から」「別刊南風の国から」、そして「季刊沖縄生涯学習フォーラム」(第1号:1995.6~第16号:1999.10)の原本は、一部紛失しているものもあるが、すべて我が「岳陽舎」にて保管している。ご入用の際は、いつでも、お気軽に、下記までご連絡いただければ幸いである。

連絡先(事務所):教育協働研究所~岳陽舎~

7 901-2225

沖縄県宜野湾市大謝名3丁目13-24

ホームページの URL⇒http://www.gakuyou.jp メール・アドレス ⇒gakuyou17@outlook.jp

<1970年頃?>

- ○広島での、暗き?学生(学部)生活
- ・ 過ぎし日の 若き命を 懐かしむ 野辺の送りの会葬者に いつしか我もなりにけり
- ・ *偽りの 浪漫の旅の 行く末は 我が身すずろな 風の秋*
- 夕暮れの 人間の無常に かこつけて 偽の浪漫に 酔いしれる
- ・ 謙虚に生きれと 他人は言う

それも 空しい 東雲路

・ 街頭に 座れば 人々は珍しがるそれほど我が 滑稽か?!

○下宿先にて

- ・ 幸福な 女の笑いに誘われて我が愛にも 幸あれと願う 夜更けの宿の窓越しに
- ・ 我慕う 愛あればと 思うこそ 永遠の世界と 決別す

<1973. 10>

- ○特別登場→俳句(川柳?)
- ・ 誰となく 我が際を 過ぐる秋
- ・ 自堕落を 嘲えば流す 枯れ涙
- ・ 懐かしき 想いは今朝の しぐれかな
- =デラシネ=その反抗と浪漫
- 捨て去りし ものにさえ すがる今の我 師走の暮れの 寒さ厳しき
- ・ しばらく見ぬ 友に逢いしが 何故に

見えぬと尋ぬる 理由もなし

女の影に 白き石ある

<沖縄に来て>

- ○S市の元社会教育職員に寄せて
- · 小さくも かくも重たき 想い寄せ

いずこの自治体に 君はいるらむ

<1990. 5. 2>

- ○旅のつれづれに(6.29 大津・三井寺にて)
- **の 己が身あるゆえ ・ 人の世に誠ありしは

諸仏・故人の想いもまた 現し姿に 温情(円城)みるかな!

・ 琵琶の湖面にヨット浮く 眺めし我は

人の間の情けに浮く

観音堂の 風はさやけき!

<千原通信第2号:1990.7.20>

○帰郷の旅

帰る想いは かくありなん?! 故郷に

今在る人に 種々に託さむ!

<千原通信第3号:1990.8.20>

○つれづれなるままに

・ 感触を 得たいと願う 我が心

大海に糸を投げ入る

^{うお} 魚つりに似て

<千原通信第4号:1990.9.20>

暮れなずむ 南の国の 落陽に

> 多き想いの 秋をしのばす

> > <千原通信第5号:1990.10.20>

・ 成すことを いかなる想いで 君はやるらん

疾風の精かも 先行く人は

<千原通信第6号:1990.11.20>

- ・ 過ぎ去りし 人との出会い 幾重にも 思い出したる 我は今 < 千原通信第7号:1990.12.20>
- ・ 島々に 分かたる命の 現し姿

交わる史に 何を語らむ

<千原通信第8号:1991.1.20>

惹かれしものは いずこより <千原通信第9号:1991.2.20>

・ こんなにも 思いを寄する 人がいて

それでも事は 容易ならまし <千原通信第 10 号:1991. 3.20>

- 何げない 人の素振りや 言動に まだ見ぬ未来の 予感ある?! <千原通信第11号:1991.4.20>
- 弱気を大人に 帰するとも 若者の 今為す術は あまりに少なし?!
- 心優しき 若者たち

<千原通信第12号:1991.5.20>

続きし島の 空と海 ・空梅雨の 青の過酷さ 歌には見えじ?!

<千原通信第 13 号:1991. 6. 20>

○父の他界(1991年7月24日)

- ・ 幼な児に かくも親のたけ 注ぎ込み 何故に悲しき 明日は訪る?!
 < 千原通信第14・15号:1991、8、20>
- ・ 数は少なき ことなれど 思わぬ出会いに導かれ 明るき笑顔の 戻ることあり?!
- ・ ごが身かそけき若者の 瞳がとらえし 社教花 人は知らねど しかと咲きぬる?! <千原通信第 16 号: 1991. 9. 20>
- ・ 富士の宵 思いを寄せしは 我が都合 気づかず時は 次を急がす?!
- 居た時は 気にもかけずに 通り過ぐ 雨の並木の 違いは重く?!
 <千原通信第17号:1991.10.20>
- ・ *時経るに* 人も組織も 変わりゆく そこに生きよと しかと告げらる?!
- 信州に 熱き思いの 人々居たる余韻を残しも 眠たき "あずさ"?!<千原通信第 18 号: 1991. 11. 20>
- ・ 過去と 未来の 狭間にて 変わりし我れを いかに知るらむ?!
- 訪れる その土地土地に 力ありさりげなきものにも 確かな手応え?!<千原通信第19号:1991.12.20>

- ・ 変わりなき 時の流れの ーコマと 思いつ新年は それでも騒がし?!
- ・ 多様なる 人との交流 唱えつつ メディアの向こうの 思いをどれ程?! <千原通信第 20 号: 1992. 1. 20>
- ・ 日常の ふるさと訪ねし 我がまなこ昔の姿 努めて追いし!<千原通信第 21 号: 1992. 2. 20>
- 旅人は 旅をする故 旅人ぞ 出会い別れに 情けは禁物?!
- ぎこちなく 別れ伝えし 我が胸の 離るる若者 故を知るらむ?!<千原通信第22号:1992.3.20>
- ・ 渡嘉敷に 集いし人々の 思いの中に 生涯学習 何を生ましむ?!
- ・ 人間の縁 何処に生まれ 何処に消えゆく
 ただ生きる そのことだけを為せしままに!
 < 千原通信第 23 号: 1992. 4. 20>
- ・ 時として 我が思いの先が 見えざりし ポめるものは 何処に?

- ・ 五日制 議論をよそに 刻一刻 果たしてその日は いかに来るらむ?! < 千原通信第24号:1992.6.10>
- ・ 問題は 分かっていても その解決に 何故に到れぬ 人の世はもどかし!
- 親として 我が子に向ける まなざしは なしきれぬ 限りの果ての闇まで見つめし!
 <千原通信第25号:1992.8.10>
- 人々の 暮らしはいかに?訪れし 者には見えぬ その土地の"うむい"!
- ・ 最西の 与那の国の 青き海 淋しき瞳の少年の眺むる海も 同じ青かな! <千原通信第 26 号: 1992. 10. 10>
- ・ 変わるもの 変わざりしもの

眺むる 自然は 神のまなざし!(多良間島にて)

<千原通信第 27 号:1992.12.10>

・ "てぃだこ"のまちの 巨星墜つ!

故人の遺声に 涙す夫人 全てはそれ!

これもまた 出会いの 妙か?術なく漂う 若者たちの恋!<千原通信第 28 号: 1993. 3. 10>

- ・ はからずも 孤立無援に陥らば せめて無念の情けなりと 分かってやれる 人の世であれ!
- ・ あることを 為すも為さぬも 時は過ぎゆく 今ある時も まさにそれ!

<千原通信第29号:1993.5.10>

- ・ *若者に 告げたし想い たゆたいし 応えてくれる 意気を見つつ!*
- ゼロからの スタート故に 苦も多し されど生み出す 喜びもまた… <千原通信第30号:1993.7.10>
- ・ 隔たりは 時と想いと 住む場所と 人間は知りつつ 何故に埋めにし?!
- 忙しい その字の意味を 知りぬれば ハッと胸打つ 人は多けれ?!<千原通信第31号:1993.9.10>
- ・ 親となり 数を重ねし 帰郷とて 黙して手を振る 母は変わらじ!
- ・ 偶然の 知己との出会い 懐かしむ 流れし時の 来し方いかに?!<千原通信第32号:1993.11.10>
- 変わらぬ陽射しに 聳え立つ 金属質の怪物は 人間の想いも 変えぬるか?
- ・ もどかしき 知の蓄積の 術いかに 集いしものは 何もて臨む?! <千原通信第 33 号: 1994. 1. 10>

- ・ 離れつも 駆せ参じる若者に 出会いし喜び束の間に 寒き旅路の 時は過ぎゆく
- ・ 送らるる 17人の 良き顔に思い起こせし 過ぎし日の我!<千原通信第34号:1994.3.10>
- ・ 巣立ちたる 若者たちの そこここに生き始めむらし 気配漂う?!
- うらめしき 南の島の 梅雨空はこれも自然と 論すが如く!<千原通信第35号:1994.5.10>
- ・ 何故に 人は結びし その縁 血と地を超えた 知もまた重けれ!
- ・ 教育の 知の蓄積の もどかしさ いかに次代は それを乗り越ゆ? < 千原通信第 36 号: 1994. 7. 10>
- ・ 機上より 見えにし島は 小さけど ドケウ 立ちみれば かくも大きし!
- ・ いずこにも 思いを寄せし 人はいて
 宿世の如く そこに生き!
 (与論・徳之島行)
 <千原通信第 37 号: 1994. 9. 10>
- ・ みちのくの 熱き思いも 違わずか 五百羅漢の 顔の如くに!

・ 卒業し 延ばしし帰郷に 特別の

意味を求むは 今は酷かも?!

<千原通信第 38 号:1994. 11. 10>

・ うららかに そよぐ木々の葉 窓越しに

**** 見遺る眼は 何を見つめむ?!

・ のどやかに 滑り出したる 初春も

場所ぞ違えば

もむき **趣 もまた?!

<千原通信第 39 号:1995. 1.10>

・ つなぐとて 声で言うのは 易けれど

先にありしは 人間のつながり!

- ・ 辛うじて 維持する際は それ故に 思いと別に 朽ちぬるか?
- ・ 験り 想い 創ろう! 祝 卒業!

<千原通信第 40 号:1995. 3.10>

※以上、「千原通信」

焦りし日々に 別れ告ぐよう?!

・ 覚悟という 二文字の意味の 奥深さ

今の今まで 知ることもなく?!

<南風の国から第21号:2006.2.16>

- ○喜び、感謝、そして新たな責任!!
- ・ このことは ひょっとしたら 「蜃気楼」?! そう思わせる程の今の我 多少申し訳なくもなく?!
- ・ *稜線上の歩みから* こちらの側に 身置けしは *医療の他に 想いし人の情けあるから?!*
- ・ 託す夢 そこに在りしは 自由大学 信じたくは 人の情けと交流の輪?!<別刊南風の国から第19号: 2006. 3. 23>
- ・ 想いが先か システムか とにもかくにも 集まれし 時と場所欲し!
- ・ 季節は巡り 気がつけば いつしか ^{***}七月 経りにけり!

<南風の国から第22号:2006.5.15>

・ 今はただ 当座の治療が 終わっただけなのに ※の試練が 終わったよう?!

<別刊南風の国から第20号:2006.6.8>

- ・ 送り出す 心の沙汰は いかばかりか 重ねし習いに いつしか褪せつつもあり?!
- ・ 人を知り 社会を知るは 易けくも そこに己の生き様を 馳せにし歩みがあるや否や?!

- ・ 満たされぬと 思う間は とこしえに 人の情は見えかねる かく言う我も?!
- ・ 人がみな 失くして分かる 「普通」の意味

そを気づかすは 病だけかも?!

<南風の国から第25号:2007.3.22>

- ○本当に、「あの時、あの事」が嘘のような今の彼
- ・ *淡々と 生きていますと 言えるのは* それを支えし ある決意あればこそ!
- ・ 人の生き死に はたまた 愛と憎しみ この身にぞ 如何にか映さん!
- ・ 幾年を 重ねて見えし 世の無常 古人も かくありなん?!
- 〇古代史解明の最前線から学ぶものあり!!
- ・ 誰しもが 分かるはずの 真実も 当時と今の双方の 人の"想い"に左右さる?!
- ・ 学問の 気高き?壁の こちらには

自由な素人の 鋭き観あり!

<南風の国から第28号:2008.2.8>

・ *夢の実現?! 「泡瀬」と「てだこ」に 賭けにし彼に 頬を撫でにし 春風!*

<南風の国から第29号:2008.3.24>

- ・ 若者に 託す思いも それぞれの 足場見えねば 伝えるは難し!
- ・ 若者に 強気になったり 弱気になったり 我が心の基軸 揺れに揺れたり!
- ・ *若者のためにと願う行動も 彼らにすれば やはり迷惑?*どこかで掏り返られし 我が思いの丈?!
- ・ 知らせ聞き ある意味 我が身かもと 思う心を 切に押し込む
- ある時期の 我が身と重ねる その術は
 どこかで願う 免罪の故?!
 <別刊南風の国から第 27 号: 2008. 7. 14>
- ・ \hat{g} 心に \hat{g} っているはずの \hat{g} が身なれど \hat{g} かにそれを \hat{g} れなくもなく?!

○第4回交流塾を終えて

- ・ とこしえに 他人の情けに 頼らなば この交流の場も 絶えて在らざる?!
- ・ 若者が 育つプロセス 見えにしも 誰もが満たされし プログラムはなく!

- ○岐阜大学・新課程協議会に参加して
- そぼ降る 小雨に 哀切しき未来?

新課程よ 如何に彷徨う?!

初めて覚えし 知立の名

そこに潜みし 怪しき 古社!

- ○生涯教育学会・上野に際して
- ・ 久々の 東海道中 新幹線 富士の高嶺も うたた寝夢枕!
- ○「県友の会」発足に際して
- · 迂闊にも そのプロセス認知せず

・ 指導者友の会 その名はともかく そこにある

人々の名前と 県の力?!

- ○筑紫哲也の訃報に接して
- ・ その人の 「日本はガン社会」と言う 警世の

指摘はどこに いかに届くらむ?!

・ 何が違って 何が同じなのか?!

密かに 乱るる 我が心のひだ!

○小松帯刀の生き様を垣間見て

- ・ 維新の真実新かに 次代を生きた その人々に 思いを寄せるは やはり手前味噌?!

○19 年の時の流れに

- この世には 交わせし情け と交せぬ情けの 二つある?!
- ・・・我が心の 座標軸

- ・ "一樹百獲" こんな言葉に 出会おうとは ほんの前まで 予感すらなく?!
- ・ 過ぎ去りし 歳月に別れを告げ 新たな歳月に思いを馳せる そんな日々が 来ようとは?! <南風の国から第33号:2009.3.23>
- ・ おきなわで 生まれし今の 我が思い = -1 こ十歳を過ぎて いかにはためく?!
- ・ 目の前で うごめく光景は 紛れもなく 我が愛すべき 若者のはず?!

- ・ どうすれば よいのか 伝えども 迷えし先の 哀しき当事者?!
- ・ 時は来る それを信じて やればよし! 今までだって 実はそう?!
- あの時の 悩める教師が 我がゼミに人の縁は かくも奇なりや?!
- ・ B au E au
- ・ 送られし 孫の写真 面映ゆく実感伴わぬ おじいの振る舞い?!< 南風の国から第34号: 2009. 4. 20>
- 〇 距離
- ・ これが今 我が究極の テーマぞと しかと自覚す! ただその理由哀し?!
- ・ *堂本に 語らす思い 我が思い* こもまた その **"**距離" ゆえ?!
- ・ 諸々を "距離"と表す 我はまだ

人間生きる辛さなぞ 分かってはおらじ?!

- ・ そこここに "距離"に苦しむ 若き人おり だが君たちは それは不似合い?!
- ・ *過ぎ去れば あらゆることも それはよし 願わくば 何か事せよ!*
- ・ 昭和の匂いの先生と 若き人より 揶揄もされ 嬉しくもあり 哀しくもあり!!
- この"距離"とは 縁遠し 孫らの微笑み
 久しく病魔は 微笑まじ!
 <別刊南風の国から第30号: 2009. 11. 20>
- ・ 往く年に いかなる思いを 渡し置き 来る年に いかなる思いを託し入れ?! < 南風の国から第36号:2009.12.24>
- 「交流」の 意識託した 「千原通信」歳月とともに 様は変わりぬ!
- ・ 新たに歩んだ 「南風の国から」 *紆余曲折 あるも 確かな足跡?!*
- ・ B 4 の 紙一枚からの 発信が 一人の 人間の 生き様決めし!

<南風の国から第37号:2010.3.18>

- ○ゼミ状況
- ・ その頑張りの プロセスが 一番大事とおもいつつも やはり気になる 中身の出来映え?!
- ・ *若者の 日々の成長 つぶさには見えず* ただしその時は 突然あらわる!
- ・ *学生の 論文作成 手助けするも 教わることの多さもまた この仕事の妙!*
- ○私生活上の状況から
- ・ 遠く離れた 娘・孫に 幾度となく求められ 妻不在の日々は いつまで続く?!
- アラフォーを もじったアラカン 名乗りつつ 大いなる決断 我が身に迫りき!
- ○我が心の奥底にて
- ・ 若き日の 暗いがあの世界 ひょんなことから蘇る?!ドストエフスキーは いまも我が内に!<南風の国から第40号: 2011. 2.8>
- ○なでしこジャパンに感激して
- ・ あれほどの 心打つ姿 久しく見えじ ピッチに躍る なでしこの花!
- ・ 天災人災 相まみれ 欲しかった栄誉賞 二重の意味で 国教 う?!
- ○熟議を終えて
- ・ ミラクルと 敢えて名づけし イベントも 終われば速やかに 次の仕事待つ!

○宮古島にて

- ・ 飛行機に 乗ればすぐそこ 宮古島 変わらぬ情け そこにあり!
- ・ 生まれ島 時の流れに 翻弄ばれようと

今いる人の 幸は尊し!

<南風の国から第43号:2011.8.>

- ・ *還暦に 己が覚悟を 重ぬるも* ありふれし術と 思えなくもなし!
- ・ その覚悟?は 別の覚悟?も欲す!

 そを 人は 業?と呼ぶか?!
- ・ *若者よ 舞台は目の前にある! 己の力で そこに立ち 舞え!*
- ・ 許せ!若者 出会いし時期は 我が終わり近く?! されど 次はある!
- そは何をしに この世に出ずる?その答え 見つけるために 出ずるやも?!
- ・ 流れし時の ーコマに

が がん かくも 心動かす!

<南風の国から第45号:2012.3.16>

- ・ 集まりし 人、人、人の 顔違え
 - 想いをつなぐ 時空であれ!
- ・ ポインセチア 名さえ覚束なかった この花の 花言葉知りて 愛おしく思う!
- 無理矢理に 内なる自己を 二つに分け語りし我は いずこより?!
- ・ ごが名を あざとく分けし その理由は 今の我には 似つかわぬ?!
- ・ 我が前で 授業するは はるばると 出雲の国よりおいででた 心優しき友人なり!
- 授業をば 他人に任せし ごが目は 何を見つめて これから生きる?!
- ・ 改革を唱える我に向けられし 是非の在処は ともかくも その 理 は 私情になし!
- ・ 今年は どうする ASKs?!その魂は 奈辺に漂う?

- ・ 「国策」を 追い風と思える時もあり 思えない時もある?! 南の果てにて 想いたゆたう!
- ・ *望まれしもの 心ありし者には きっと伝わる* そは いつか形になればこそ!
- ・ その形 我にとっては ファイナル・ステージ されど誰がいつ いかに創らむ?!
- ・ 喜びは 常に応えてくれる 縁の人々 教え子も今 それに加わる!
- ・ 出会いし人は 多けれど 心通わし 縁結ぶは やはり難し!
- ・ 弱き我 流石に今は 認めざらまし だが培いし 意地は失わせざらむ!
- ・ 奥深き 心の乱れ 覚らるる ならばとて 逆手にとって演じ切れ!
- ・ 何をしに ここ 沖縄の地に?! そに答えるは 今はまだ惨き!!

唯一の確かな手応え そこに見ゆ
 そを何とかすれば 答えとなるか?!
 < 南風の国から第52号: 2013, 12, 25>

○時を背負うということ

- ・ 生きる意味 当然だが 時代が関わる! そを我が身が叫べば "時を背負う"と言うか?!
- ・ その背負いしもの 人ぞれぞれにあり! なかに 哀しきものあり また強きものあり!!
- ・ 哀しくも だが 強くもある背負いしもの 今の我には そが羨まし?!
- ・ 背負いしもの 人は多くを語らじ! 語るより 何より生きねば ならぬ故?!

○卒業するということ

- ・ *卒業とは 何かを終えること そして次のステップへと進むこと!* 大学の卒業とは まさにこれ!!
- ・ 若者よ 願わくは 自ら選びしその時は 儀式となりしその時と 可能な限り合わせてくれ!
- ・ 卒業に 終わりはあるか? "ない"と言いたい!されど今 かく言う我も少し戸惑う?!
- 人生は 予期せぬことの連続と 分かってはいても 慌てふためく! "人が生きる"とはそういうこと?!<南風の国から第53号:2014.3.3>
- ・ これほどまでに 違う現在 あのもどかしき 悔しき日々は 一体いずこへ!

・ 華やかな これが最後のステージと 凛と覚るその姿

老えども貴方は 今でもスター!! <南風の国から第 54 号: 2014. 4. 23>

- ・ 若者に多くは望むな! だが、失望もするな! それが鉄則! 分かっていながら 焦る我も?!
- ・ 花を摘み 部屋に飾るは 何故ぞ?!

現し我が身に そを映したき?! <別刊南風の国から第44号:2014.5.30>

- ・ 来し方行く末 社会の奔流は 一つとも 個々の心は ゆらぎ綾なす!
- ・ 意地張って 自ら見切りを つけるとぞ

騒げど身体は 既に受け入れており! < 南風の国から第55号: 2014. 8. 14>

- 多彩な出会い 変わらず続くされど 情けは 集いしものへ!
- ・ *健気にも 思いの丈を 我にくれ 凛々しく振る舞う若者たち 尊し!*
- ・ あれから 10 年 幾度か重ねた 実らぬ想い これが最後と繰り返す 哀れかも?!

これだけは 口にすまいと 留めし君に
 見つめし我は いかで語らん?!
 <南風の国から第56号: 2014. 12. 12>

○心ある人達へ

・ *志 たとえ擦り減っても そこここに*

想いの連鎖は 響み伝わる?!

- 一方で 心通わぬ関係も 生まれ出ず!されど その時の流れぞ?!
- ・ 心ある人達よ あなた達の厚情に 感謝と期待!これからも 変わらずよろしく!

○巣立ち行く若者達へ

- ・ 出会いし時期が いくばくでも 異なっていれば また違う風景 見せれしものを?!
- ・ 許せ!若者 こんな自身 曝け出し

ただ人の世の邂逅 かくありもあり?!

・ 君達の 笑顔と涙 幾重にも 我に告げにし その尊きを!

○新たなゼミ生達へ

- ・ 要介護?教授 君達なくして 何もできず! いかなる状況迎えど よろしく頼む!
- ・ イノ研は チームなり! だが どんなチームになるかは 予め見えじ?!

○そして自分自身へ

- しっかりしろ! 残せしもの 繋がりしものそして生み出されしもの そこここにあるではないか?!
- ・ 決断が 少し軽めたこれからを いかに創るか?! 己への信頼は ただそこにのみある?!
- 増えた孫 少しは増すか じいじい心?!増すとは思うが 案ずべきもまた増ゆ?!<南風の国から第57号:2015.3.20>
- ・ 心地よき うりずんの風 頬を撫ぜ 懐かしくもあり 切なくもあり!!
- ・ *集いし若者 予想以上の 手応えあり* されど安堵とばかりは いかぬ日もある!
- あれこれ巡らす 一年後
 かくの状況迎えるを つい先まで 想いもせず?!
 <南風の国から第 58 号: 2015. 5. 15>
- ・ 教育における融合か はたまた 協働か?!

 求められしものは 人間の社会のあり方!
- ・ 後期に賭けた 掛け言葉 好機(興起)生まずは 我が決断 危うし?!

- ・ 古代史の 謎に入り込み 我が行く末惑わす! そこに横たう 二重の藪?!
- 親爺ギャグ ロする孫に 我の影!胸の内まで 真似はされまじ?!<南風の国から第59号: 2015. 8. 14>
- ・ 社会教育から生涯教育へ そして今 学社融合から教育協働へ 我が辿りしものは ひとづくりとまちづくりの循環に!
- 教育は すべて人と人との 出会いから その出会いの妙が 人生創る?!
- ・ 数々の 無念の思いは 胸に収め 集いし人々の 笑顔にのみ応える!
- ・ 人は言う ネットワークよりパッチワークを! はっとさせられるも やはり それも必要!!
- ・ これが最後と 口にせど カナヤト カナヤト カリ続けてと 一方で願う 実は複雑?!
- 一つひとつ 終わる今新たな次は 今ある今に いかにあるらん?!
- ・ 若者達に託すこと 多くはないが いくつかある! それ目撃る時日が ありやなしや?!
- ・ 応えてくれる 若者達がいる 大人達もいる! 数は限られるが だからやる!!

- ・ ひょんなことから 新居購入! ここを拠点に いかに 動かん?!
- ・ 見渡せば 広がりし 心地よき東シナ海

これからここで 紡ぐもの如何に?!

<南風の国から第60号:2015.12.18>